

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：機械、土木、建築、その他工学】

大 学 名	慶應義塾大学	整理番号	H - 1
拠点のプログラム名称	知能化から生命化へのシステムデザイン		
中核となる専攻等名	理工学研究科開放環境科学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 吉田 和夫 外18名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は、慶應義塾大学が提唱したシステムデザイン工学という新たな工学分野の実績の上に、20世紀の高性能化から知能化への工学の歴史的なパラダイムシフトをさらに展開させ、21世紀において生命化へのシステムデザインを探索し、機械・建築分野における先導的な役割を果たすべく、世界的な研究教育拠点を目指すものである。外部との相互作用のルールも含んだ設計情報そのものをシステムに埋め込み、ミクロレベルからマクロレベルまでのシステム内部間のインタラクション、そして周りの環境とのインタラクションが可能な機械・建物の設計を行うシステムの「生命化」のための工学の創造を目指す。システムデザインによるプロダクトイノベーションを図りつつ、バックボーンとしての広範なシステムデザイン工学分野の新展開を図ると同時に、Research Assistant (RA)と若手研究員の雇用プログラム、国際インターンシッププログラム、先端デザインスクールプログラムなどを通して人材育成を行う。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>知能化から生命化という新コンセプトを提唱し、従来技術を新視点のもとに統合するとともに、新たなシステムデザイン学を確立するという構想は評価できる。人工物の科学技術を追及する世界的にもユニークなCOEとして組織が発展することを期待している。</p>			